



2023年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年3月10日

上場会社名 エッジテクノロジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4268 URL <http://www.edge-tech.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 住本 幸士
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理本部長（氏名） 治田 知明（TEL）03-6205-7597
 四半期報告書提出予定日 2023年3月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年4月期第3四半期の業績（2022年5月1日～2023年1月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第3四半期	1,980	27.9	204	32.5	205	39.9	134	39.3
2022年4月期第3四半期	1,548	—	154	—	147	—	96	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年4月期第3四半期	12.65		12.43					
2022年4月期第3四半期	9.62		—					

- （注）1. 当社は2021年4月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年4月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2022年4月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2022年1月31日において非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
 3. 2021年10月13日開催の取締役会決議により、2021年11月6日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第3四半期	891	567	63.7
2022年4月期	858	431	50.3

（参考）自己資本 2023年4月期第3四半期 567百万円 2022年4月期 431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年4月期	—	0.00	—	—	—
2023年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

3. 2023年4月期の業績予想（2022年5月1日～2023年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,643	22.3	234	11.3	235	17.3	160	17.2	15.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年4月期3Q	10,655,490株	2022年4月期	10,544,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年4月期3Q	37株	2022年4月期	—株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年4月期3Q	10,594,266株	2022年4月期3Q	10,000,000株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は2021年11月6日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたこともあり、景気が緩やかに持ち直してきております。ただ、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、今後の金融市場の変動等に注意が必要な状況が続いております。一方、新型コロナウイルス感染症の影響をきっかけに進んだりリモートワークの推進や各企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進は、感染症の影響が落ち着いても止まることなく、AIアルゴリズム実装に対する需要を高めていると考えております。

当社においても、このような需要の高まりを取り込み、また、営業体制強化・継続的業務改善に取り組むことにより、当社サービスの拡大に繋げることができました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は1,980,258千円(前年同期比27.9%増)、営業利益は204,464千円(前年同期比32.5%増)、経常利益は205,740千円(前年同期比39.9%増)、四半期純利益は134,004千円(前年同期比39.3%増)となりました。

なお、当社はAIアルゴリズム事業を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における流動資産は875,544千円となり、前事業年度末に比べ33,121千円増加いたしました。これは主に営業活動による収入等により現金及び預金が20,013千円増加し、また、売上高の増加に伴い売掛金が31,001千円増加した一方で、未収還付法人税等の還付等によりその他流動資産が17,606千円減少したこと等によるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定資産は16,389千円となり、前事業年度末に比べ755千円増加いたしました。これはパソコンを購入したことにより有形固定資産が1,761千円増加した一方で、敷金及び保証金の費用化等により投資その他の資産が1,005千円減少したこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は891,934千円となり、前事業年度末に比べ33,877千円増加しております。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における流動負債は304,338千円となり、前事業年度末に比べ87,949千円減少いたしました。これは主に外注原価の増加により買掛金が24,431千円増加した一方で、未払法人税等が支払により38,732千円減少したこと、未払金や未払消費税等の支払によりその他流動負債が59,711千円減少したこと等によるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定負債は19,604千円となり、前事業年度末に比べ14,478千円減少いたしました。これは1年内返済予定の長期借入金への振替により長期借入金が14,478千円減少したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は323,942千円となり、前事業年度末に比べ102,427千円減少いたしました。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は567,991千円となり、前事業年度末に比べて136,304千円増加いたしました。これは四半期純利益の計上により、利益剰余金が134,004千円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月期の業績予想につきましては、2022年6月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日2023年3月10日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	570,997	591,010
売掛金	247,781	278,782
貯蔵品	175	75
その他	24,955	7,349
貸倒引当金	△1,486	△1,672
流動資産合計	842,422	875,544
固定資産		
有形固定資産	1,611	3,372
投資その他の資産	14,022	13,017
固定資産合計	15,634	16,389
資産合計	858,057	891,934
負債の部		
流動負債		
買掛金	137,764	162,195
1年内返済予定の長期借入金	33,023	19,086
未払法人税等	72,704	33,971
その他	148,796	89,085
流動負債合計	392,288	304,338
固定負債		
長期借入金	34,082	19,604
固定負債合計	34,082	19,604
負債合計	426,370	323,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	95,354	96,525
資本剰余金	87,584	88,755
利益剰余金	248,741	382,745
自己株式	—	△40
株主資本合計	431,679	567,985
新株予約権	8	6
純資産合計	431,687	567,991
負債純資産合計	858,057	891,934

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)
売上高	1,548,138	1,980,258
売上原価	1,038,397	1,343,736
売上総利益	509,741	636,521
販売費及び一般管理費	355,395	432,056
営業利益	154,346	204,464
営業外収益		
受取利息	1	65
受取配当金	0	0
還付加算金	103	—
還付消費税等	—	2,009
営業外収益合計	104	2,075
営業外費用		
支払利息	1,033	633
長期前払費用償却	155	164
上場関連費用	6,155	—
その他	—	0
営業外費用合計	7,344	799
経常利益	147,106	205,740
税引前四半期純利益	147,106	205,740
法人税等	50,900	71,736
四半期純利益	96,206	134,004

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社は、AIアルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。